

福島県内における まちづくり事例紹介

1 本宮市（都市再生整備計画事業）

地区名：本宮市街地地区

事業期間：平成29年～令和4年

事業費：C=3,735.9百万円（国費C=1,430.3百万円）

事業概要：子どもからお年寄りまで安全・安心を実感できる、東西に活力あるまちづくりのため、本宮駅周辺の東西アクセス整備を行う。

令和3年12月17日に本宮駅東西自由通路（愛称：東西アクセスロード）の供用が開始されました。

平面駅から橋上駅(※)となったため、改札では、駅の東西を自由に行き来することが可能となり、今まで不便だった駅西側からもアクセスできるようになりました。また、自由通路内や駅構内には、エレベーターやバリアフリートイレが設置され、本宮駅の利用がさらに便利になりました。

現在、駅西側の駅前広場を整備中であり、令和4年12月供用を目標に工事が進められています。

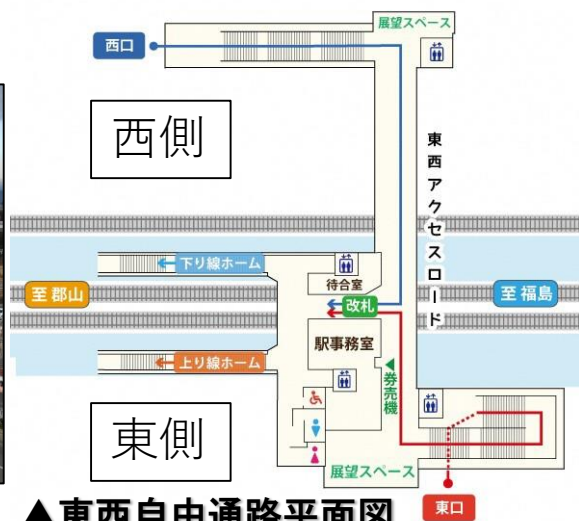
※橋上駅：駅舎機能を上階部分に集約した鉄道駅のこと。

【本宮市担当者からのコメント】

本体工事では鋼材納期の長期化や追加工事の発生などにより完成が遅れたことや、関連事業との調整など、様々な苦労がありました。



▲本宮駅東側の外観



▲東西自由通路平面図

東西自由通路内の様子▶



▲東側展望スペース（誰でも演奏可能なピアノが設置されております。）

▼バリアフリースイレ



▲エレベーター

2 二本松市（都市構造再編集集中支援事業）

地区名：二本松城跡周辺地区

事業期間：平成30年～令和4年

事業費：C=2,125.2百万円（国費C=912.0百万円）

事業概要：二本松の歴史・文化・魅力を伝える新たな交流拠点の整備と観光振興による地域の活性化を図る。

本事業で整備が進められていた高次都市施設（観光交流センター）が令和4年4月9日に「にほんまつ城報館」としてオープンしました。

当施設は、1階に市内の史料などを展示する二本松歴史館、2階に市内の観光情報を提供するにほんまつ観光情報館があります。

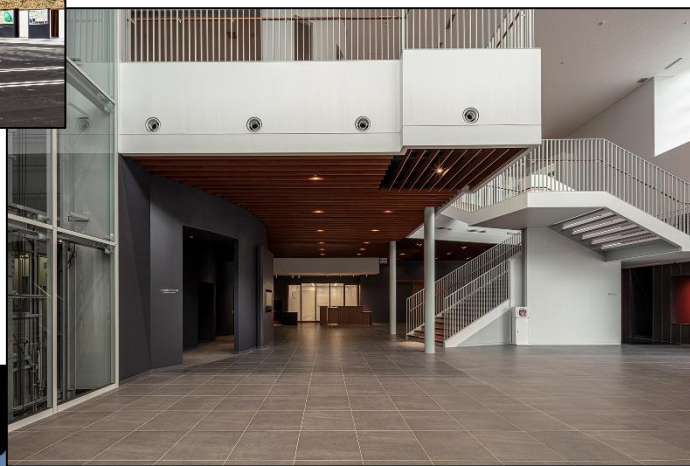
本事業は現在も継続中であり、近隣の道路整備などを進めていく予定です。

【二本松市担当者からのコメント】

観光と文化という二つの要素をいかに融合させ、新たな観光交流拠点としてどう機能させていくかなど、関係団体や庁内関係部との横断的な意見調整に苦慮しました。



◀にほんまつ城報館の外観



にほんまつ城報館の内観▶



◀二本松城跡などの映像を映す
全周囲型サラウンドシアター

3 新地町（都市防災総合推進事業）

地区名：駒ヶ嶺地区

事業期間：令和2年～令和4年

事業費：C=582,2百万円（国費C=291.1百万円）

事業概要：駒ヶ嶺地区の指定避難所兼公民館及び同じく近くにあり、指定避難所となっている駒ヶ嶺小学校までの避難路の整備を行う。

1 1年前の東日本大震災時に指定避難所（駒ヶ嶺地区）として多くの避難者を受け入れた公民館は、施設の一部が耐震基準を満たされていないことや液状化現象による傾きが生じており、立て替えが迫られ、近くに国の交付金を活用し新しく整備されました。

新地町は公民館の整備のため、都市防災総合推進事業を活用し、令和2年度から工事を進め、令和4年3月1日に新地町立駒ヶ嶺公民館を開館しました。

平常時は町民による会議や講演会、スポーツなどに利用される予定です。

【新地町担当者からのコメント】

災害時には避難所となるため、敷地全体の嵩上げや、停電時に発電機を接続することで一部の照明や空調設備を使用できるようにしました。



▲駒ヶ嶺公民館の外観

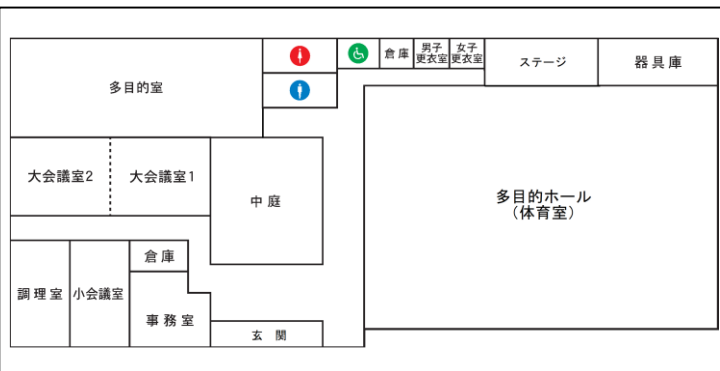


▲3.11新地町津波浸水エリア

●：新駒ヶ嶺公民館

■：旧駒ヶ嶺公民館

▨：浸水区域



▲館内図



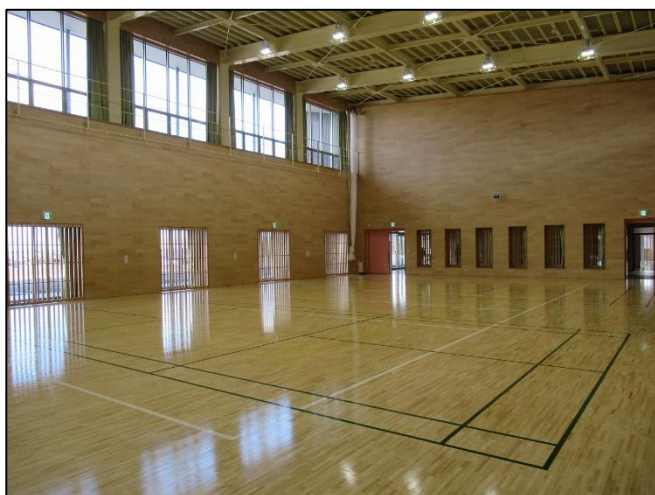
▲会議室



▲小会議室



▲調理室



▲多目的ホール

📧 編集後記 📧

今回は、令和3～4年度に完成した施設について紹介しました。国土交通省都市局所管事業では、駅の自由通路から避難所となる公民館など幅広い分野のまちづくりの支援が可能です。福島県は、今後も県内市町村のまちづくりを支援して参ります。

土木部メールマガジン登録随時受付中!!!

土木部メールマガジンでは、土木部の取組みや情報を定期的に発信しています。最新号のメール配信を希望の方は、下記により登録をお願いします。

これまでに配信したメールマガジンについては、土木企画課のホームページ (<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025a/doboku-mm.html>) からご覧いただけます。

メールマガジン(無料)の配信をご希望される方は

【土木部メルマガ希望または、解除】
をお書きのうえ下記アドレスまで
メール送信して下さい。



doboku_mailmagazine@pref.fukushima.lg.jp
土木企画課(システム担当) 024-521-7886

【まちづくり瓦版 発行元】
福島県土木部まちづくり推進課

TEL 024-521-7511

FAX 024-521-7956

e-mail machizukuri@pref.fukushima.lg.jp

URL <http://www.pref.fukushima.jp/machi/>